

令和6年度第3回教育行政評価委員会 議事概要

開催日時：令和6年11月6日（水）午前10時から

開催場所：市役所4階 406会議室

出席者 加納委員長、伊室副委員長、杉澤委員、吹上委員、上見委員、金山委員

事務局 谷口教育長、川部事務局長、森口教育総務課長、藤山

【事務局】それでは、定刻になりましたので、令和6年度第3回教育行政評価委員会を始めさせていただきます。委員の皆さまにはお忙しいところをお集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、会議に先立ちまして、加納委員長様よりご挨拶を頂きたいと思います。

【委員長】おはようございます。大変暑い盛りの7月末からスタートしました委員会ですが、明日は立冬となり、暦の上では冬を迎えることになります。秋はどこに行ってしまったのかといった季節感も少しずれそうな日々を送らせていただきながら、とうとう上野祭も過ぎて寒くなりそうかなというこの時期に、委員会の事案もまとまりつつあります。本日も皆さんよろしくお願いします。

【事務局】ありがとうございました。

次に会議の成立報告と委員のみなさまへのお願い事項について説明させていただきます。

本日の委員会ですが、6名の委員の皆様にご出席をいただいておりますので、伊賀市教育行政評価委員会の設置に関する条例第6条第3項により会議が成立していることをご報告させていただきます。

また、本日の会議は、伊賀市審議会等の会議の公開に関する要綱によりまして、会議を公開し、会議の傍聴を認めておりますので、本日の会議を傍聴される方、報道関係者の撮影等について、ご了解、ご理解をお願いいたします。

あわせて、会議録作成のための録音と会議録の公開について、ご了解いただきますようよろしくお願いいたします。

次に、本日の会議に使用する資料について確認をさせていただきます。事前に送付させていただきました資料として、事項書、資料1 第2回評価委員会後の修正箇所について、資料2 令和6年度教育行政点検評価報告書（案）となっています。

過不足等ございましたらお声がけいただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

（資料確認）

それでは委員の皆さま、本日はよろしくお願いいたします。以降の進行につきましては、加納委員長様、よろしくお願いいたします。

【委員長】それでは、事項書に従いまして進めさせていただきます。事項書1番、協議事項（1）令和6年度教育行政評価の調整協議について 資料1の「第2回評価委員会後の修正箇所について」事務局からお願いします。

【事務局】資料1をご覧ください。9月27日に開催しました第2回教育行政評価委員会で評価委員の皆様の意見のまとめ案について、意見交換をいただき、内容の修正が必要となった意見について一覧にまとめさせていただいています。まとめ案の下線部が修正した部分で、その右側に修正した意見を記載しています。一つひとつの説明は省かせていただきますが、修正内容についてご確認いただき、委員の皆様からご意見があればよろしくお願いします。

【委員長】ご確認いただき、ご意見等いかがでしょうか。

【委員】教育総務課は、修正が無かったから添付されていないということですか。

【事務局】修正が無かったので記載はしていません。

【委員長】よろしいでしょうか。それでは、続いて資料2 「令和6年度教育行政点検評価報告書（案）について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】資料2をご覧ください。第2回教育行政評価委員会で協議いただきました「事業に対する評価委員からの評価・意見等」を先ほど説明いたしました資料1で修正した内容を含めまして、所属ごと、取組事業単位で、「教育行政点検評価報告書（案）」としてまとめてあります。

表紙の次のページの「点検評価及び評価の概要」から説明させていただきます。「1. 経過及び目的」「2. 点検・評価の方法」につきましては前年度と同じ内容となっています。（記載内容を説明）

「3. 総評」は、事務局で作成した案を記載させていただいています。（記載内容を説明）赤字は前年度の内容を記載していますので、参考にいただき、事務局案についてご意見をいただきたいと思います。その他の評価委員、事業集、委員会の開催状況につきましては、本年度実施しました評価委員会の内容を記載しています。よろしくお願いします。

【委員】委員名簿で吹上委員の所属で「文」と書いてあるのは「元」の間違いだと思います。

【委員】中学校は行っていないので小学校だけです。

【事務局】申し訳ございません。「元小学校長」に修正させていただきます。

【委員長】概要についてご確認いただいておりますが、全体を見ていただくのと同時に、特に3番の総評を書いておりますので事務局から説明いただいたとおりです。この案についてご意見などいかがでしょうか。

【事務局】事務局内で調整ができていなくて申し訳ございませんが、「いっそう」というのを漢字にさせていただければと思います。

【委員長】昨年度と事業数がかなり多いのはいいのでしょうか。

【事務局】 4年度の事業と5年度の事業で教育方針への掲載の仕方が変更となっています。5年度事業からは総合計画の事務事業評価シートに合わせた形の掲載として事業の区分を変えたので事業数の変動が生じています。

【委員長】 41事業から65事業と結構多くなっていると思いますがいかがですか。

【事務局】 教育総務課で多くなっていますが、例えば同じ遠距離通学者通学経費についても、小学校と中学校に分けていることで事業数が増えています。

【委員長】 図書館は7事業から3事業に減っていますがいいのですか。

【事務局】 図書館はこれまで細かく事業分類をして7つの事業となっていました。5年度からは事業内容は同じですが、事業のまとめ方として総合計画の事務事業評価シートに合わせた事業数としています。

【委員長】 総合計画の方も他の部署と同じように横につながったということですね。総合計画にも関わらせていただいているのですが、教育委員会だけ独自の事務事業がずれるようなそんな表記が気になっていました。

【事務局】 総合計画で使っている表記と、教育委員会で作っている教育方針の事業の表記がこれまでは、別々につくっていました。評価の指標についても総合計画の事務事業で使っている指標があるにもかかわらず、教育方針で分類した事業の指標を別につくってこれまでは進めていました。同じ事業内容にも関わらず、違った形でそれぞれを分けて事業内容や指標をつくっていましたので、5年度からは総合計画の事務事業評価シートに基づいた分類をして教育方針をつくった方がいいのではということで見直しをしたものです。

【委員】 総評のところで、「社会情勢や教育環境が急速に変化し、」とあって、文末のところで「教育内容及び教育環境の更なる充実を図るように努められたい」となっています。おそらく教育環境というのは、ICTとかDXとか、AIを含めてそういうことを意図されていると思うのですが、教育環境が急速に変化し、最後のところで教育環境の更なる充実を図るようになると、少し整合性がどうかと思います。案ですが、「社会情勢や教育を取り巻く環境」としておいて、後半のところは教育環境の更なる充実、つまり前段のところは教育も含めたすべての環境とした方が整合性が取れるのではないかと思います。いかがでしょうか。

【事務局】 教育環境というのは委員が言われるようなことを考えていたわけですが、冒頭と最後のところでこういった書き方であれば整合が少し図れないように思われますので。冒頭で「教育を取りまく環境」に修正します。

【委員長】 他よろしいでしょうか。では次に進めさせていただきます。所属単位での評価、意見についてお聞きしたいと思います。

【事務局】 1ページからが各所属の部分になります。初めの部分は事業概要や指標になっ

ています。後半に事業に対しての委員の皆様からいただいた評価や意見をまとめています。所属ごとに説明をさせていただきますので、意見交換していただき、評価・意見としてまとめていただきたいと思います。

○教育総務課・学校施設室を説明

【委員長】1 番初めの奨学金の事業で「希望です」を「希望である」に、スクールバスの事業で「事故件数も」を「事故件数は」にお願いします。教職員住宅の事業で「勤務に専念できる住宅環境のために」とあるのを「住宅環境を保障するために」とか「確保」とか、いかがでしょうか。

【事務局】「住宅環境を確保するために」に修正します。

【委員長】施設維持管理経費で「教育環境のためにさらに」とあるのを「教育環境のため、さらに」にお願いします。

○学校教育課を説明

【委員】地域とともに学校マニフェスト推進事業で「人の役に立つ人間になりたいと思える児童数が多く」とありますが、小学生は該当する子どもが多いが、中学生においては生徒をあえて外しているのはそういうことでしょうか。

【事務局】特に小学生だけだからという意味ではなく、いただいたご意見の中での表記となっていますので「児童生徒数」に修正します。

【委員】少し関連になるのですが「児童・生徒」と「児童生徒」ありますので、どちらかに統一した方がいいと思います。文章の内容上、中点があった方がいいのか、そのあたりはどうなのでしょう。

【委員長】学校の事業では続けての表記になっています。

【委員】小学生は児童、中学生は生徒とっていて、それをひっくるめて児童生徒になるので、児童・生徒ではないのでしょうか。でも原課は続けた表現を使っています。

【事務局】そこまで意識していませんでした。

【委員長】一度、事務局でチェックしてください。意図がある場合は、中点が必要と思います。

【委員】同じ項目で、「地域の教育力が学校教育活動の資源やエネルギーに活用される」とありますが、こういった言い方をするのでしょうか。

【委員長】評価委員としての願いが表現となっています。地域の教育力とは、人材とか、資格とか、人的支援という意味になります。

【委員】人の役に立つ人間になりたいと思える児童数が多く、希望が持てるという文章

に続けていますが、別の意見ではないのでしょうか。

【事務局】もともと二つの意見を一つにまとめているので、場合によっては分けても問題はないと思います。二つの意見に分けて修正をします。

【委員】不登校児童生徒支援事業で「教育支援センター通級が困難な」とありますが「教育支援センターへの通級が困難な」に修正をお願いします。

【委員】同じ事業の一番下の意見で「不登校児童については」とあるのを「不登校児童生徒については」に修正をお願いします。

【委員長】同じ意見で「解決しにくい事」の「こと」が漢字になっていますがひらがなに修正をお願いします。

【事務局】キャリア教育事業で送り仮名の関係で「取り組み」という表現を資料 1 でも使っていますが、名詞で終わる場合は「り」と「み」の送り仮名を取って漢字だけに統一させていただきたいと思います。動詞の場合は、送り仮名が必要になります。

【委員長】そのことは教育委員会だけのことですか。

【事務局】公文の書き方になります。庁内の文書は統一しています。それと 11 ページの学力向上推進事業の最後のご意見で「家庭での学習時間を確保する家庭への働きかけ」とあるのを「家庭での学習時間を確保するための家庭への働きかけ」に修正をお願いします。

【委員長】特別支援教育事業の 3 行目で「実現できるいよう」とありますが「い」が多いので削除してください。長い文章が多い印象がありますが、評価ということではよろしいでしょうか。一文が長いという意味ですが、必要な意見ということで進めさせていただきます

○給食センターを説明

【委員】二つ目の評価について、少し感情が入った評価になっていると思いますがいかがですか。

【委員長】目の前に子どもの姿がちらつく評価もありましたので残していただきました。

○生涯学習課を説明

【委員】生涯学習推進啓発事業の三つ目の意見で何の実施割合なのか、住民自治協議会の委託事業が今現在 69.2%でそれを 80~90%に上げなさいということなのですが、実施割合の主語がないような気がします。長くなりますが、「住民自治協議会への委託事業の実施割合を」というように書いた方がいいのではと思います。

【委員長】前のシートは横の繋がりがあったのですが、これだけを見ると何か分かりにく

いと思います。指標を書いていただいたらいいのではと思います。

【事務局】指標である「住民自治協議会への委託事業における重点事業の実施割合」という表現を加えることでどうでしょうか。

【委員】正確に表記していただいた方がいいと思います。

【事務局】指標の説明では、生涯学習事業における重点項目に沿った内容の事業実施の割合となっています。

【委員】実績の69.2%は委託事業の重点事業の実施割合になっています。委託事業の中で重点事業が1から4つあって、それを自治協では69.2%しか実施していないということですね。

【委員長】目標が100%になっています。

【委員】委託事業でありながら100%になっていないということですね。「実施割合を80～90%を目標に取り組まれない」というのは何の実施割合なのか分からないと思います。

【事務局】指標に書いている内容をそのまま表記させていただくことでどうでしょうか。

【委員長】そのような表現でお願いします。その次のたわらや維持管理経費の二つ目の意見で「存続も含めて違った方向性について」というのはありましたか。

【委員】たわらや自体が何か取り残されている感じがあります。民間に貸してあげればどうかとも思ったりします。

【事務局】今、検討はしていますが経産省の補助金を受けているので、それが過ぎる10年を待っている状況です。地元を活用意向があるかどうか聞かせていただいて、なければ民間活用という形に進んでいくので、そういった段階を踏んでいく必要があります。まずは自治協とかにお話を持っていくというルールになっています。

【委員長】書いている内容の意味は分かっていますか。

【委員】「違った」ということに違和感があって、「方向性について検討されたい」だけでも、抽象的になりますがいいと思います。

【委員長】180度転換してくださいということではないと思いますので、「違った」を削除してください。

【委員】地元の方で協議をしてもらいますので、方向性でいいと思います。

【委員】人権教育推進事業の最初の意見で「主体者を育てる」とありますが、他のとこ

ろで「リーダー」と書いてあって、どちらが一般の方にとって分かりやすいのかと思います。「主体者」とすると少し分かりにくいように思いますので「リーダー」の方がいいと思います。

【委員長】「リーダー」に修正をお願いします。

【委 員】先ほどの生涯学習推進啓発事業の実施割合の話のところですが、5年度の目標値が100%になっています。ここでいう80～90%というのは実績がそれぐらいまでいかないといけないという意味と思いますが、目標が100%に対して80～90%ということはどうなのでしょう。

【委 員】委託事業であれば本来は100%でないと不履行になると思います。評価はやわらかいと思います。本来は100%だと思います。市からこれだけの業務をやってくださいと委託を受けているものを現実には69.2%の実績なので、100%にしないと残りの分は不履行になってしまうと思います。

【事務局】重点項目に沿った内容の重点項目ではない事業も含めてになります。

【委 員】重点項目の%が69.2%ではないのですか。

【事務局】重点項目に沿った内容の事業実施の割合になりますので、重点項目ではないけれども生涯学習として実施する事業もあるということになります。

【委 員】重点項目が4項目あって、それをやってくださいと自治協に頼んだけど、実際集計をしたら69.2%しかできなかったということではないのですか。評価委員からすればそれは100%であって、80～90%を目標に取り組みたいということではなく100%にしろということではないのでしょうか。

【事務局】担当課に確認をしますが、事務事業評価シートによると全体事業の中で60%は重点事業に沿った事業をしてくださいという指標になっています。前に出している100%と違うと思います。

【委 員】それであれば少しニュアンスが違うと思います。

【事務局】教育方針ときちんとリンクがされていないように思われます。

【委 員】自治協議会全体事業の中で重点項目のどれか1つでも取り組みれば100%になるのですか。

【事務局】指標の確認をさせていただきます。具体的な数字は、指標を設定した上で出てきますので、評価としては、目標値として設定した数値をきちんと目指して取り組んでくださいという表現にすれば、具体的に80～90%ということにせず、指標の目標を達成するようにということでしょうか。

【委員長】事務局で文章表現の方をよろしくお願いします。

○文化財課を説明

【委員長】文化財施設維持管理経費の初めの意見で、「保存管理の事業、又」とありますが、「又」とこれまで漢字を使っていましたか。無かったと思いますのでひらがなに修正してください。「また、」になると思います。「イベントなどの活用事業」のところも気になりますので「イベントなどの活用事業」に修正をお願いします。歴史資料保存管理経費の最初の意見で「取り込めるような起爆剤的な情報発信」というところも気になりますので「起爆剤的な情報発信」という表現はどうでしょうか。

【事務局】【起爆剤的となる情報発信】はどうでしょうか。

【委員長】そのように修正をお願いします。

【委員】同じところで、最初の意見では「イベントなど」と「など」がひらがなで、3つ目の意見では、漢字の「等」になっていますのでどちらかに統一すべきだと思います。

【事務局】漢字で統一します。

○図書館を説明

【委員長】努力目標1の図書館管理経費の「ワクワクする」というのは俗っぽいと言われましたので「興味深い」としたいのですがいかがでしょうか。

【事務局】「夜のとしょかん探検は興味深い」に修正します。

【委員】努力目標2の図書館管理経費の最初の意見で、「2年連続して」とありますが、「令和何年から何年にわたって」とはっきりと示した方がいいと思います。

【事務局】「令和5年から」を加えます。

【委員】先のことを評価することになりますがいかがですか。

【事務局】現時点でわかっていることですので「令和5年から2年連続して」に修正します。20ページの事業概要で中点があって改行がされていないところがありますので整理して修正させていただきます。

【委員長】米印と中点とは違いがあるのですか。

【事務局】これも統一させていただきます。

【委員長】21ページの事業概要も整理をお願いします。

【事務局】冊子を編集する際にすべて米印に統一していますので、今はバラバラの状態ですが最終的に米印に統一させていただきます。

【委員長】もう一度振り返って全体を通してご指摘がありましたらお願いします。

【委員】教育総務課のところで「35℃以上の猛暑日」とありますが、あえて35℃以上という表現はどうでしょうか。猛暑日は35℃以上と決まっているのではないのでしょうか。

【委員】暑い日が多かったことも考えてのことだと思います。

【委員】後の文章の繋がりもありますのでこのままでいいと思います。

【委員長】少し心配なのは、私たちは事業概要が書かれた繋がったシートを見ながら評価、意見を頭に入れてきたので、パッと見た人が前にかかっている事業概要とかを見ながら評価、意見を見ていただけるかどうか、意味が分かっていたかどうかも含めて少し不安があります。

【事務局】取組事業名を評価の方にも記載をさせていただいて、どの事業の評価なのか、事業概要や指標についても分かっていたらと思います。

【委員】給食センターの「伊賀牛（いがぎゅう）」か「伊賀牛（いがうし）」がありますがこれでいいですか。給食に伊賀牛（いがぎゅう）がでたということが気になります。

【委員】子どもは「伊賀牛（いがぎゅう）」が出た」と言っていました。

【委員】言葉では「いがぎゅう」と言いますが、漢字では「伊賀牛（いがうし）」になります。伊賀肉とは違うわけですか。

【委員】前に松阪に肉を食べに行ったときに一緒に行った人が「松阪牛（まつさかぎゅう）」と言っていました。松阪では「肉のことを「まつさかうし」と言います。」と言っていました。伊賀は、生きているのは「いがうし」で、肉は「いがぎゅう」と聞きました。

【委員長】本日、評価、意見等をおまとめいただきましたので、微細な修正もいただきまして、事務局で把握していただき再度出させていただきますが、委員長に一任頂きまして最終教育委員会へ提出ということでご承諾いただけますか。

【委員】（承諾）

【委員長】承諾いただいたということで、進行を事務局お返しします。

【事務局】ありがとうございました。その他、委員の皆さまから何かございますか。

無ければ事務局から連絡させていただきます。本日、ご協議いただきました報告書案を委員長と調整し、修正したものを「教育行政点検評価報告書」として教育委員会へ提出させていただきます。その後、各課でいただいた意見や評価への「今後の対応」を記入した

ものを委員の皆様へ 12 月中旬ごろに送付します。さらに今回の教育行政評価や令和 7 年度の各課努力目標などを記載した「令和 7 年度教育方針」を作成し、4 月には送付させていただきます。また、次年度の教育行政評価委員会は、第 1 回を 7 月から 8 月にかけて開催させていただければと考えていますのでよろしくお願いいたします。連絡事項は以上です。それでは、閉会にあたりまして、谷口教育長より挨拶をさせていただきます。

【教育長】皆さん、ありがとうございました。3 回にわたり熱心にご協議をいただき、ありがとうございました。いろいろなご指摘もいただき、直していくことになりますが、私たちもこの評価を基に予算要求もしながらやっていきたいと思っています。

ちょうど合併してから今年で 20 年になります。11 月 1 日には、20 年の式典も行われて、これまでの成果や今後についても、その時にあわせていろいろな人からもご指摘や評価をいただいたところです。

この 20 年の中で特にコロナがあって、人がどんどん減るとというのがさらに顕著になってきて、市としてもこれをどうしていくかということが大きな課題になってきており、そのことがいろいろな事業に影響しているというのが今の状況です。

例えば教育総務課で取り組んでいる学校みらい構想も子どもたちが減る中でもう一度校区の再編をして学校の数をもう少し減らしていけないといけないとか、いやいや減らすことはならんという意見もいろいろいただく中で、子どもが減るとやはり地域の元気がなくなるとか、保護者にとってはもう少しまとめて大きな学校にしてもらわないと活力もなくなってくるということで、いろいろなご意見をいただきながら一定の方向をまとめるということをしています。

一方地域でも、部活の地域移行も受ける方がいなかったらそれもできない話で、更には社会教育の面でも、今地域でがんばってくれている人が、図書館のボランティアにしても、地域活動のいろいろな方にしても、その方が次の世代に継いでいただくことがなかなか難しかったらそれで終わってしまうということで、地域でもその人材が非常に難しくなってきます。

そういう中でコンパクトに効率よくしていく必要がありますが、伊賀市は面積が広いので、うちの地域はどうするのか、うちの地域をもっと活発にするにはこういうことをしてほしいとか、どういうふうに舵を取って、それをうまくしていく必要があるのかというのが、市長選もありますが、そういうところはいろいろなことを今後の行政の中でも模索して行く必要があるのではと思っています。

これまでやってきたから、このまま続けるということではなく、これまでやってきたものをもう少し時代に合うものに変えながら、今後皆さんからいただいた評価を教育委員会としても各委員さんのご意見も聞かせていただきながら、来年の予算にどういうふうこれを反映していくか非常に悩むところは多いです。たくさん予算があっているいろいろなことができるとなれば、いろいろなことができる可能性もありますが、限られた中でどこに重点を置きながらどういうふうにしていくかということになってくるのではと思っています。

こうやってご意見をいただいたものについては、いいものはきちっと残しながら進めていきたいと思ひますし、改善していくものについては、大きく改善をしていきながら新たな制度に創り変える時期にきているというのもたくさんございますので、そういうものも含めて今後取り組んでいけたらと思っています。

皆さんからご意見をいただいたものを今後、教育委員会にかけさせていただきます。

方針の中にも書かせていただきながら、今後の方向性を検討していきたいと思いますので
よろしくお願いしたいと思います。3回にわたってご審議をいただきましてありがとうございました。
いろいろな意味でこれからもよろしくお願いいたします。

【事務局】 それではこれをもちまして令和6年度第3回伊賀市教育行政評価委員会を終了
させていただきます。ありがとうございました。